学校番号	３０４

令和８年度　芸術科（美術）

教科	芸術	科目	美術探究	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・美術は創作活動を通して自己と向き合い、新たな価値を見出す力を育みます。また多様な価値観 や、ものの見方・考え方を学ぶ教科です。
・絵画・デザインの基礎的な描写・形体・色彩の実習を行います。
・表現形式の特性や形体・色彩などについて着目し、自分なりの感じ方や見方、表現を深めていきましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・実習を通して、知識・技能を身に付け、美術文化に対する理解を深める。
【思考力、判断力、表現力等】
・美術の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせることができる。
【学びに向かう力、人間性等】
・美的体験を重ね、生活や社会の中の美術 や美術文化と幅広く関わる意欲・態度を育成することをめざす。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表わしている。	・造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	・主体的に美術の幅広い創造活 動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	新聞紙・段ボールアート	【鑑賞】【絵画・立体】 ・オリエンテーション ・学習内容、評価説明 **「新聞紙・段ボールアート」** ・新聞紙や段ボールなどの身近な素材と、セロハンテープ・ガムテープなどを使用した立体作品を制作 **「合評」「鑑賞」**	a:（知識） 形や質感、量感、重心やバランス、動勢などの効果、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。 a:（技能） 構図や表情、全体のイメージなどを捉え、材料の特性を生かして表している。 a:（技能） 意図に応じて、材料の特性を生かし創意工夫し、主題を追求して創造的に表している。 b:（発想や構想） 対象の表情や動きから感じ取ったイメージなどを基に主題を生成し、形や質感、量感、重心やバランス、動勢などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。 b:（発想や構想） 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて多様な視点から考え、見方や感じ方を深めている。 c:（鑑賞） 主体的に造形制作表現や鑑賞の創造的な諸活動に取り組もうとしている。	振り返りシート 作品	振り返りシート 作品	活動の様子 振り返りシート 作品 学習の記録簿

2学期～3学期	模写とコラージュ	【デザイン】【絵画】 ・模写に自分の考えた要素を加えて作品を制作する。 ・毎回の授業を振り返り、今後の見通しを立て、長時間の制作を計画的に行う。 **「合評」「鑑賞」**	a:（知識） 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 a:（技能） 表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表している。 b:（発想や構想） 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、自己の価値意識を働かせて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。 b:（鑑賞） 作業工程を理解し、想像しながら見通しを持って制作している。 c:（鑑賞） 美術の創造活動の喜びを味わい、美術や美術文化に関心を持ち、主体的に美術の創造的な諸活動に取り組もうとしている。	振り返りシート 作品	振り返りシート 作品	活動の様子 振り返りシート 作品 学習の記録簿

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度